

## 産業建設委員協議会記録

開会年月日	平成23年10月20日
開会時刻	午後 0時59分
閉会時刻	午後 1時13分
出席委員名	◎山根隆司 ○福井輝夫 辻 孝記 広 耕太郎
	品川幸久 上田修一 小山 敏 山本正一
	世古口新吾
	宿 典泰 議長
欠席委員名	
署名者	
担当書記	中野 諭
協議案件	サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について（報告案件）
説明員	産業観光部長、産業観光部参事、総務部長、総務課長

## ☆協議経過並びに概要

山根委員長開会宣言及び会議成立宣言後、直ちに会議に入り、「サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について」産業観光部参事から説明を受け、若干の質疑を行った後、協議会を閉会した。

(開会 午後0時59分)

### ◎山根委員長

ただいまから産業建設委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので会議は成立いたしております。

それでは会議に入ります。

本日の御協議願います案件は、「サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について」の報告案件でございます。

それでは当局からの説明をお願いいたします・・・産業観光部長。

## サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について

### ●中井産業観光部長

委員の皆様方には大変御多用の中、また急遽産業建設委員協議会をお開きいただきましてまことにありがとうございます。

本日御報告申します案件は、ただいま委員長さんのほうから御案内いただきました「サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出について」でございます。

また議員の皆様方に対しまして、この報告がマスコミ報道の後になりましたことを大変申し訳ないと思っております。おわび申し上げます。

詳細につきましては、担当参事から御説明を申し上げますのでよろしくお願いもうしあげます。

詳細につきましては担当参事のほうから説明をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

### ◎山根委員長

・・・産業観光部参事。

### ●奥野産業観光部参事

それでは、今回のサン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出につきまして御報告申し上げますのでよろしくお願いいたします。

かねてより立地交渉を進めてまいりました「株式会社菊川鉄工所」から本年10月17

日付けで、サン・サポート・スクエア伊勢の事業用地譲渡の申し込みがございましたので、企業進出の内容につきまして御説明申し上げたいと思いますが、その前に私のほうからも委員の皆様には御報告の時期におきましておわびをさせていただきたいと思っております。

去る 17 日午前 9 時に株式会社菊川鉄工所様から譲渡の申し込みの提出をいただいた後に各委員の皆様には報告させていただく手順が、マスコミ関係者の記者会見の後になりましたことに対しまして衷心よりおわび申し上げたいと存じます。申し訳ございませんでした。今後このようなことがないように努めさせていただきますので、御容赦のほどよろしくお願いいたします。

それでは配付させていただきました資料にもとづきまして立地の概要につきまして、御説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

配付資料 1 の 1 ページをごらんいただきたいと存じます。

まず (1) の「進出企業の概要等」でございますが、企業名につきましては、先ほど申し上げましたとおり、株式会社菊川鉄工所でございます。

本社・所在地は、三重県伊勢市大湊町 85 番地。

代表者は、代表取締役社長、菊川厚氏でございます。

創業につきましては、明治 30 年でございますが、昭和 22 年に組織を株式会社に改めておられます。

資本金は、6 億 6 千万円で、株式につきましては、大証 2 部・名証 2 部に上場されております。

年間売上高につきましては、平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの平成 23 年 3 月期で 43 億 4,917 万円でございます。

平成 23 年 9 月現在の従業員数は 224 名でございます。

事業内容につきましては、生産用機械器具製造業で、木工機械及び工作機械の製造並びに販売をされております。

同社は、日本発の製材・木工機械メーカーとして 1897 年の創業以来、K I K U K A W A の「切る・削る・磨く」の技術は産業界に名を揚げ、テレビ、携帯電話、航空機・鉄道車両・自動車などを製造する機械を製作する総合機械メーカーとして発展されてきた企業でございます。

続きまして (2) の進出計画の概要でございますが、今回の進出計画は、近年、受注需要が増加している大型機械製造のインフラの拡充及び将来における優秀な人材確保のための魅力的な生産拠点として新たに工場を増設するものでございます。

進出場所につきましては、資料 2 ページの「サン・サポート・スクエア伊勢 進出予定一位置図」をごらんいただきたいと存じます。

朝熊山麓の市所有地「サン・サポート・スクエア伊勢」の B-1、B-2 区画及び B-3 区画の一部で、面積は 3 万 1,493.12 平方メートルでございます。

なお、B-3区画を分割分譲することで、分譲価格につきましては、不動産鑑定評価にもとづき、新たに価格設定をさせていただきました。

旧B-3区画、図面のB-3A区画とB-3B区画を合わせた区画、13筆ございますが、1万2,556円に対し、今回分割分譲いたしますB-3A区画の1平方メートル当たりの単価は1万2,994円と、区画面積が狭くなるため、1平方メートル当たりの単価を438円アップするものでございます。

また、図面B-4区画、B-3B区画につきましては、同一区画として今後分譲するものでございます。

続きまして建設計画でございますが、3ページをごらんいただきたいと思います。

3ページの計画配置図でございます。

建物の構造につきましては、鉄骨造1階建てでございます。第一工場が3,600平方メートル、同じく第二工場が3,000平方メートル、並びに1,400平方メートルの事務所を整備するもので、平成23年12月に予定といたしまして、建設事業に着手をいたしたい。それから平成24年5月に操業開始を予定していると伺っております。

資料1ページに戻っていただきたいと思います。

資料中段でございますが、「投資計画」でございますが、土地につきましては、2億9,460万9千円、以下、建物・償却資産につきましては概算ではございますが、建物につきましては、7億円、償却資産につきましては、2,000万円、合計10億1,460万9千円の計画であると伺っております。

続きまして、事業計画でございますが、先ほども申し上げたとおり、新幹線、航空機、大型木材プラント等の大規模な製造プラントの生産を倍増可能とするものであると伺っております。

続きまして、新工場の従業者数でございますが、189名で、新規雇用につきましては14名であると伺っております。

同社のサン・サポート・スクエア伊勢への進出は、①生産能力を拡大すること。②優秀な人材確保のための魅力的な生産拠点を整備することに加えまして、③周辺環境の良さ、④地盤の強度、⑤交通アクセスの良さ、⑥自然災害のリスク管理などを考慮して、工場進出の最適地と判断され、最終的に立地決定に至ったと伺っております。

これによりまして、地域における新たな雇用の場の創出、地域振興はもとより地場の産業の活性化に大きく寄与されるものと期待するものでございます。

また、今回のサン・サポート・スクエア伊勢への立地は先月のヤマナカフーズ株式会社様に続く立地第二号でございます。これらを契機として次の企業の進出につながるように今後も引き続き努めてまいり所存でございます。

最後に(3)の今後の予定でございますが、この10月25日、来週でございますが、企業立地協定書の締結、またその後、同年11月9日に土地売買仮契約書の締結を予定しているところでございます。

なお、仮契約の締結後、「伊勢市議会の議決に付すべき契約及び、財産の取得又は処分に関する条例」の規定にもとづきまして、議会での御審議を賜りたいと存じますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

以上、サン・サポート・スクエア伊勢への企業の進出につきましての御報告とさせていただきます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

◎山根委員長

ありがとうございます。この案件は報告案件でございますが、何か御質問がありましたら、御発言をお願いします・・・世古口委員。

○世古口委員

大変御苦労さんでございます。特にことしになってから、こういった朗報というか、企業の進出ということで、2企業さんが出られるということは非常に伊勢市としてもありがたいことではないかなと思っております。

そこで、相手があることやでなかなか、先ほど参事のほうからお断りの言葉がありましたが、相手があることであるので、なかなかまあ、表明というか公開する時期が難しいと思うのですが、それについてはどうこう言うつもりはないけれども、こうやってヤマナカフーズ、今回の菊川鉄工にしてもやはりまあ東北の大震災と関係があるのかなと。大震災前からこういった動きがあったのか、それとも大震災以降、津波の関係とかいろんな関係でこういう話が急速に出てきたのか。この企業進出ということについて、一朝一夕にはいかんと思うんですよね。その辺はどんなんやったのかな、分かっている範囲で、言える範囲でお答え願ひたいと思います。

◎山根委員長

・・・産業観光部参事。

●奥野産業観光部参事

立地の交渉の時期の御質問でございますが、不幸な震災が3月11日にあったわけでございますが、同社とのですね、私ども3月11日以前から営業活動をさせていただいて、若干御検討をいただいていたのですが、やはりこの3月11日の震災がひとつの大きな決め手となって決定いただいたと我々も認識をいたしておるところでございます。

◎山根委員長

他にございませんか・・・辻委員。

○辻委員

確認だけさせてください。今回B-3の区画の分割をされた、分筆されたということをおっしゃってあります。単価的にも変わっておりますが、分筆費用ですね、この分筆費用とそれから単価が上がったのでどれくらいの差額が生まれるのかなということをお聞きしたいなと思います。

◎山根委員長

・・・産業観光部参事。

●奥野産業観光部参事

分筆費用につきましては15万307円でございます。ちなみに鑑定費用につきましては12万6千円でございます。

今回の改定で全体として分譲価格が上がりました。155万8千円ほど上がりまして、全体の分譲価格9億5,220万9千円が、9億5,376万7千円に上がりました。

以上でございます。

◎山根委員長

・・・辻委員。

○辻委員

鑑定費用は別ですが、分筆費用に関しては、これは当局のほうが持たれるということで理解してよろしいですか。

◎山根委員長

・・・産業観光部参事。

●奥野産業観光部参事

分筆費用につきましては市側の持ち分でございます。ちなみに登記費用につきましては相手さん方の費用ということでよろしくお願ひします。

◎山根委員長

・・・辻委員。

○辻委員

もう1点だけ。確認だけですが、今回こういった形で23年12月に建設着手という形で決まりまして、5月には操業開始というふうに伺いましたけれども、この部分で遅れ

が生じるとか、そういうことは想定されたときに、そういった部分でのいろんな補助金等の問題はクリアできるのでしょうか。どこまで猶予があるとかですね。

◎山根委員長

・・・産業観光部参事。

●奥野産業観光部参事

今回の案件に対しまして、まず初めに土地奨励金、土地の購入に対しての奨励金が30%ですね、これにつきましては購入後1年以内に着手していただくことになっております。

それから当然今回の案件につきましては、菊川さんの強い御希望で早い時期に操業したいということでございます。ただ、今予定で当然これから事務を進めていく、当然議会の議決も賜らないといけませんし、建設計画の申請等もございますのであくまで予定ということでございますが、事務手続きが完了次第早期にかかりたいということをお伺いしておりますのでよろしくお願いいたします。

この12月着手というのは、あくまで菊川さんの希望でございまして、補助金の猶予というのは先ほども申し上げたとおりですね。やはり1年以内に事業に着手していただくという条件でございますのでよろしくお願いいたします。

◎山根委員長

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎山根委員長

御発言もないようありますので、本件についてはこの程度で終わります。

以上で、御協議願います案件は終わりましたので協議会を閉会いたします。

(閉会 午後 1時13分)